



【目指す児童像】  
考える子 健康な子  
親切な子 がんばる子

# いずみ

2024.9.27  
ひたちなか市立  
中根小学校  
学校だより No.11



児童数（1年生:52名 2年生:57名 3年生:44名 4年生:54名 5年生:62名 6年生:42名）計311名

長かった夏休みも終わり、また中根小学校に児童の笑顔が戻ってきました。9月になっても真夏のような厳しい暑さが続きましたが、やっと秋らしさを感じられる気候になってきました。これからの4ヶ月は遠足や中根フェスティバルなどの楽しい行事が続きます。また、それらに関連したさまざまな学習活動を充実させる時期でもあります。中根小が目指す「たい・よう」を大切にして、多くのことを学んでほしいと願います。

## 水泳学習が始まりました

9月6日（金）より今年度の水泳学習が始まりました。昨年度に引き続き、茨城スイミングスクールひたちなかでの学習となります。初日は1・3・5年生が学習を行いました。プールの使用について説明を受けた後は、スイミングスクールの先生の指示に従い、泳力別に学習を行いました。児童は楽しみながら活動に取り組んでいました。今年度の水泳学習は、10月15日（火）までとなります。



## 第2回学校運営協議会がひらかれました

9月5日（木）に、第2回学校運営協議会が開かれました。今回は、市教育委員会指導課の渡邊秀幸社会教育指導主事にご参加いただき、協議を進めました。

今回の協議では、  
・学校運営協議会の内容の周知の仕方について  
・学校だよりの配付方法について  
・中根小学区内の人的資源（自治会やおやじの会など学校をささえてくださる諸団体や個人）間の連携・協働をどう図っていくか。  
を中心に話し合いを行いました。

特に、3つ目の「学区内の人的資源をどのようにつなぐか」について、熱心な議論がなされました。「地域とともにある学校」を目指すためには、学校と地域が目標を共有する必要があります。そのためには、学区内の諸団体や個人と学校との個別のつながりだけでなく、諸団体や個人間の横のつながりをつくるのが大切である、という話になりました。今後、そのような場を設定しようと動き始めています。



## 「茨城高専ラボ」実施されました



8月26日（月）～30日（金）の期間、「茨城高専ラボ」が本校理科室で実施されました。「茨城高専ラボ」とは、茨城高専とひたちなか市が実施している取組であり、児童を対象に理科の実験を中心とした体験活動を行うことを通じて、学習に対する意欲・関心を高め、仲間との協力意識を育むことを目的とした理科教室のことであります。写真は、プログラミングの学習の様子です。児童がパソコンに指示を打ち込み、その指示通りにロボットが動くかどうか試しているところです。児童がロボットを自分の思うように動かそうと、試行錯誤を繰り返しながら、何度もパソコンに指示を打ち込んでいる姿が大変印象的でした。

## 2年遠足

9月13日（金）に日立市にある日立シビックセンターとJR日立駅へ、第2学年は遠足に行きました。

この遠足は、「集団行動やグループ活動を通して、きまりを守ったり、協力しあったりすることの大切さを理解する。」ことをねらいとしています。

午前中は、シビックセンターにあるプラネタリウムで星空について学習しました。昼食は日立駅で食べました。海から吹く涼しい風が気持ちよく、楽しいひと時でした。

午後は、科学館に戻り、科学にまつわるさまざまなゲームに挑戦しました。班長を中心に声を掛け合うなど、日頃の学校生活で学んだことを生かして活動していました。子供たちのたくさんの笑顔を見ることができた1日でした。



## 3年遠足

9月18日（水）に第3学年の遠足を実施しました。

この遠足は「陶芸体験や昔の道具や建築物の見学を通して、伝統的な文化や昔の暮らしに触れる。」「集団行動を通して、きまりを守ったり、協力し合ったりすることの大切さを理解する。」「公共の場所での行動の仕方やマナーを知り、実践する。」の3つをねらいとしています。

午前中は、笠間の「製陶ふくだ」での陶芸体験。真剣に説明を聞いた後、熱心に作品づくり。独創的なアイデアが、カップやお皿のデザインに生かされていました。

午後は、水戸の県立歴史館に場所を移し、お待ちかねのお弁当タイム。お弁当を食べる児童の笑顔はいつ見ても最高です。しかしその後は突然の雷と大雨。そのため、1組は歴史館で昔の暮らしについて見学、2組は明治時代に建てられた旧水海道小学校を見学して活動を終了。この後、互いに学んだことを交流する時間を設ける予定です。

